

共同発表（仮訳）

第 11 回 ITER 政府間協議

2005 年 10 月 24 日中国、成都

中国、欧州連合、日本、韓国、ロシア連邦、及びアメリカ合衆国の政府代表団は ITER 国際核融合エネルギー研究開発計画の共同実施のための協定に関し、合意に達するための作業を継続することを目的に、2005 年 10 月 24 日、中国成都で会合を開いた。

中国が ITER に関する政府間交渉会合をホストするのは今回で 2 回目のことである。

本会合において、代表団は ITER 職員の問題、プロジェクト運営及び調達に関する方針、計画を実施するために ITER 機構を設立するための協定策定作業の継続などを含む、法律的、技術的、また運営上の広範囲にわたるトピックスについて検討を行い、多くの実質的な成果を収めた。

代表団はインド加盟の可能性についても検討を行った。最近行われたインドへの共同調査団から代表団になされた報告に基づき、代表団は、インド参加に関し全ての極が合意に達する可能性に向け、近い将来における一連のステップを明らかにした。

次回の ITER 政府間協議は 2005 年 12 月 1 日～8 日に韓国の済州島で開催される。